

インターネット練習問題

クラス () 学籍番号 () 氏名 ()

- (A) ディレクトリー型検索エンジン Yahoo!Japan を利用して、世界的に広がっている病気（新型のウイルス性による肺炎）に関する情報を収集しなさい
1. ブラウザを起動し、アドレスに `http://www.yahoo.co.jp/` と入力して検索エンジン Yahoo!Japan にアクセスする。
 2. 「新型のウイルス性による肺炎」について調べるのに使用したらよいと思うことば（キーワード）を書き出しなさい。
→ 肺炎・新型・()
 3. Yahoo!Japan の検索ボックスに 2 で列挙したキーワードを一つずつ（あるいは複数組み合わせ）検索しなさい。この病気の名前は何か。
病名（正式名） → ()
病名（略称） → ()
 4. この病気について詳しい情報を得るのにふさわしいページを一つ選びなさい。
ページ名 ()
アドレス ()
何を基準にそのページを選んだか、当てはまるものに○をつけなさい。
(作成者や作成機関 情報量 作成日や更新日 見やすさ 客観性 その他 → ())
 5. この病気についての情報を得られるサイトは、どの Yahoo!カテゴリに登録されているか。トップのカテゴリ（ホーム）から順に最下位のカテゴリまでを記録しなさい。
ホーム > (健康と医学) > () > ()
 6. 5 で記録した最下位のカテゴリ名をクリックしなさい。このカテゴリに登録されているサイトを出発点とし、各国の状況（国名、発生数、死亡数など）が分かるページを探しなさい（日本語で書かれているページで良い）。
ページ名 ()
アドレス ()
 7. 各国の状況（国名、発生数、死亡数など）のデータを公表している機関はどこか。
機関の名称 ()
その機関自身のサイトのアドレス ()
各国の発生状況等をまとめているページのタイトル
()
それらのデータの調査期間 (年 月 日 ~ 年 月 日)

(B) 自分の小論文のテーマについて検索エンジン Yahoo!Japan を使って情報を集めなさい。キーワード検索を行う方法とトップのカテゴリ（ホーム）から順に下位のカテゴリに降りていく方法との両方を試みなさい。

→ 小論文に使いそうなページを開いて、適宜フロッピーディスクに情報を保存しなさい。

保存したファイル名とともに、ページタイトル、サイト名、サイト発行者、アクセスした日付を文献カード（B 7）に記録しておこう。

【コツ】今まで行った検索についてきちんとメモしておこう。どのカテゴリを降りていったか、どのようなキーワードで検索したかをすべて記録しておくことで、今後さらに追加して検索する場合などに無駄を省くことができる。（情報カード（B 6）を利用してメモしておくとうれしい）

→ 小論文に役立つようなページを記録しなさい。

著者名（ ） 記事名（ ）

サイト名（ ） 作成／更新日（ ）

発行者（ ） アクセス日（ ）

何を基準にそのサイトを選んだか、当てはまるものに○をつけなさい。

（ 作成者や作成機関 情報量 作成日や更新日 見やすさ 客観性 その他 → （ ） ）

(C) 自分の小論文のテーマについて検索エンジン Google を使って情報を集めなさい

1. アドレスに <http://www.google.co.jp/> と入力して Google にアクセスする。「Google について」をクリックし、検索方法を確認する。

2. 画面の中の「ホーム」をクリックして検索画面に戻り、検索ボックスに小論文のテーマに関連するキーワードを入力し、検索ボタン（Google 検索）をクリックする。

入力したキーワード → （ ）

何件ヒットしたか？ （ ） 件

3. 件数が多すぎる場合、キーワードを追加して絞り込む。画面上部の検索ボックスにキーワードを追加し、検索ボタン（Google 検索）をクリックする。

【コツ】事前調査のプロジェクトで作成した自分のテーマのキーワード・リストに挙げた語を検索語として使ってみよう。

追加したキーワード → （ ）

何件ヒットしたか？ （ ） 件

→ 小論文に使いそうなページを開いて、適宜フロッピーディスクに情報を保存しなさい。

保存したファイル名とともに、ページタイトル、サイト名、サイト発行者、アクセスした日付を文献カード（B 7）に記録しておこう。

4. まだ件数が多すぎる場合、日付や不要なキーワードなどを指定してさらに絞り込む。画面上部にある検索ボックスの上の「検索オプション」をクリックする。指定したいキーワードや条件を選ぶ。例えばページ最終更新日で絞る場合は「3ヶ月以内・6ヶ月以内・一年以内」から選ぶ。テーマと無関係なサイトが目立つ場合は、それらを除くキーワードを考え「キーワードを含めない」で指定する。

→ 小論文に使えるようなページを開いて、適宜フロッピーディスクに情報を保存しなさい。
保存したファイル名とともに、ページタイトル、サイト名、サイト発行者、アクセスした日付を
文献カード (B7) に記録しておこう。

【コツ】 今まで行った検索についてきちんとメモしておこう。どのようなキーワードで検索したか、どのよう
な条件を指定したかをすべて記録しておくことで、今後さらに追加して検索する場合などに無駄を省
くことができる。(情報カード (B6) を利用してメモしておく整理しやすい)

→ 小論文に役立ちそうな Web 情報について記録しなさい。

著者名 () 記事名 ()

サイト名 () 作成/更新日 ()

発行者 () アクセス日 ()

何を基準にそのサイトを選んだか、当てはまるものに○をつけなさい。

(作成者や作成機関 情報量 作成日や更新日 見やすさ 客観性 その他 → ())

(D) Yahoo! Japan と Google を比較しなさい。同じテーマで検索してみてどのような違い (件数や内容など)
があったかに触れ、二つの検索エンジンをどう使い分けたらよいか考えを述べなさい。